# 土木工学分野から

# 世界の貧困削減

# へのアプローチ

# 土木分野からの国際協力活動

YONKIダム（パプアニューギニア）

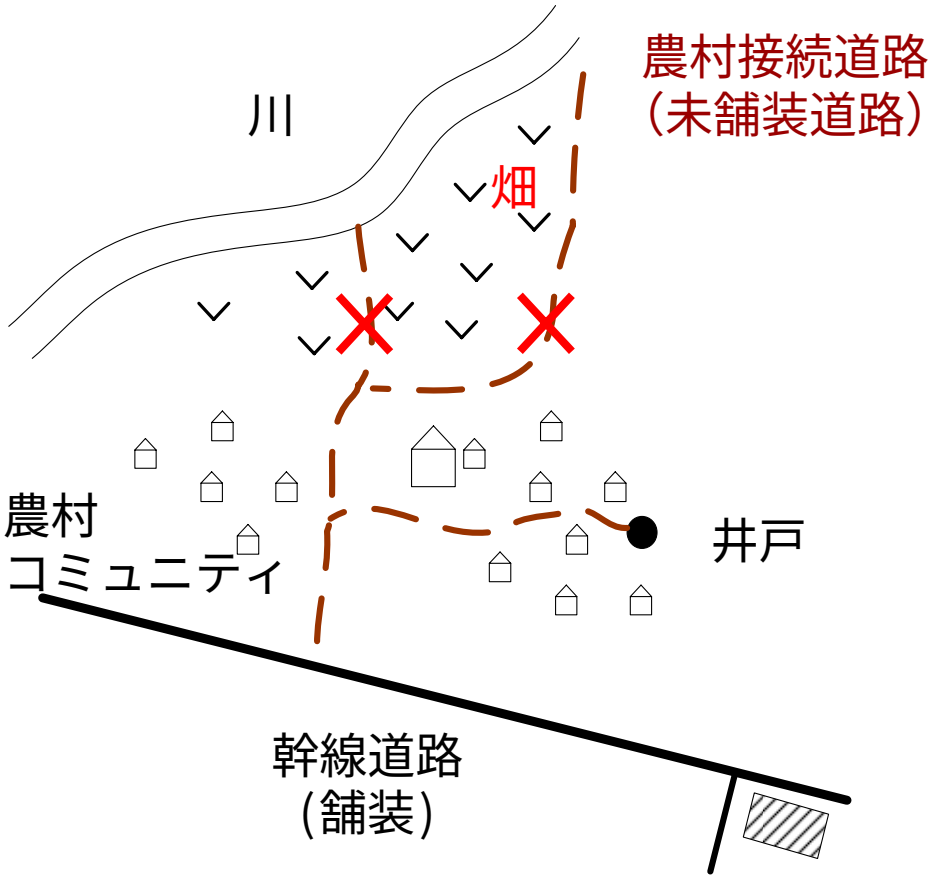
LERON　橋（パプアニューギニア）

国を支える社会基盤を整備し，開発途上国の発展に貢献

貧困層の４分の３が農民

# 農村部のインフラ (道) の様子

# 農村部の貧困の原因は？




雨季に泥濘化

部分的に車両通行不能

農作物の
輸送が困難 ⇒ 貧困の一因

# 農村接続道路をどのように整備するのか

Monthly JICA, 2006.1 より

マラウイ，コミュニティへの小規模灌漑

雨季でもアクセス確保
日交通量50台未満
？

農村接続道路

南禅寺，水路閣

京都，政令指定都市への飲料水供給

幹線道路

# 農村接続道路整備手法の提案

人力による施工で
現地で調達可能な材料を用い
改修効果の高い道路整備手法

農民自身で整備
することが可能

農民自身による，持続的な
道路維持管理システム

持続的に通年
通行性を確保

「土のう」
による
整備手法

コミュニティ内
の道路管理
グループ

自分たちの問題は，自分たちで解決する，解決できる
（オーナーシップの醸成，キャパシティデベロップメント）

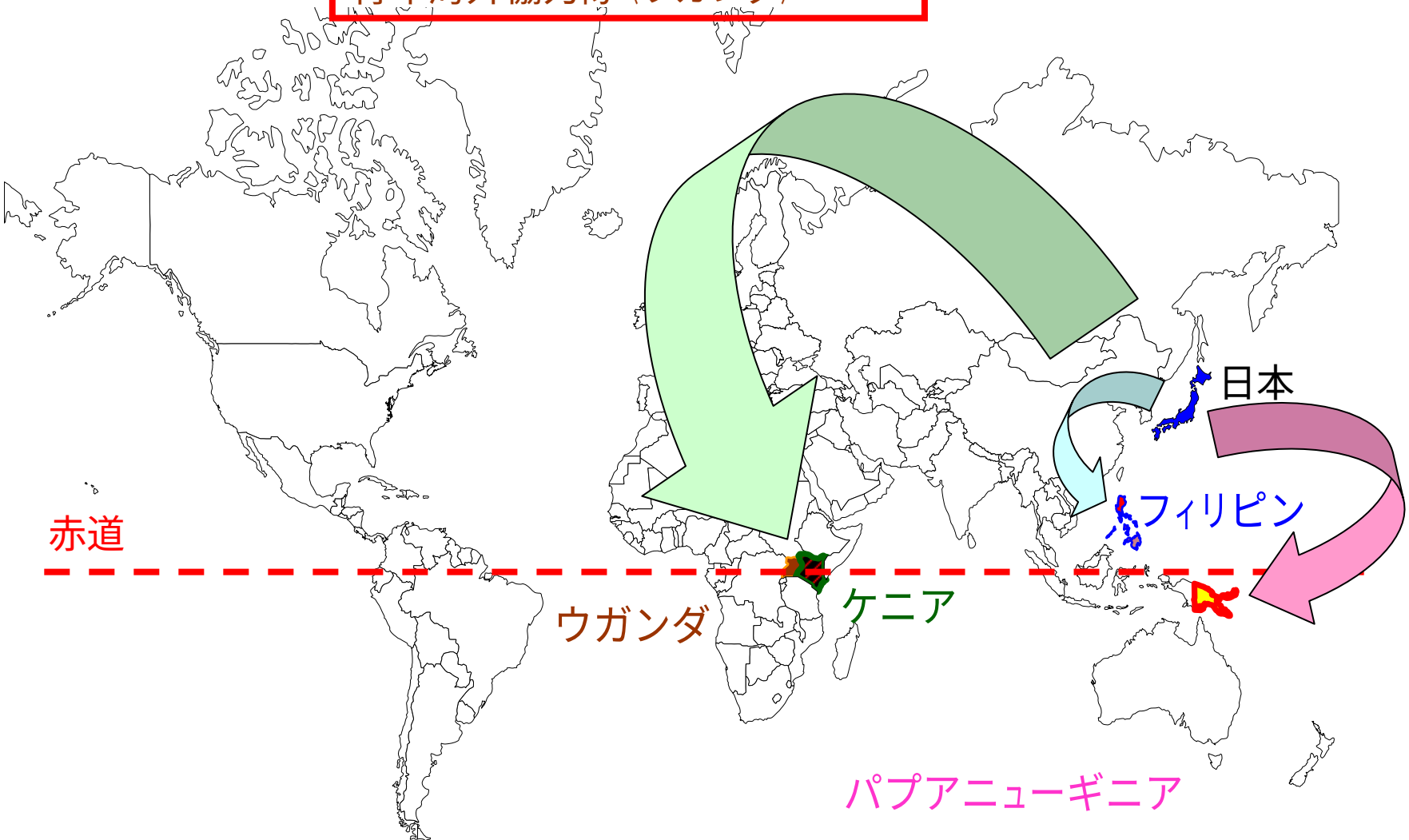
**農村コミュニティを活性化**

# 土木工学研究者から途上国農村コミュニティへ

大学での
技術開発

ボランティア (パプアニューギニア)
大学連携 (フィリピン)
技術協力プロジェクト (ケニア)
青年海外協力隊 (ウガンダ)

現地のコミュニティ



# 世界の貧困削減を目指して

世界の４つの地域で，４つのパターンで同時に
展開されている「土のう」による農村インフラ整備